



立教学院展示館
The Heritage and Future of Rikkyo

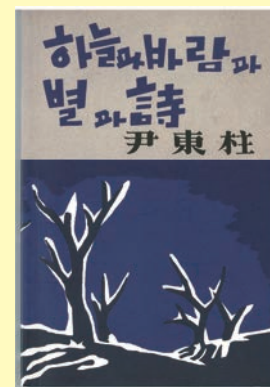
第12回企画展「尹東柱の世界―立教大学『尹東柱記念碑』の設置に寄せて」

『空と風と星と詩』の物語

―家族と友人が紡いだ「奇蹟」―



自選詩集『空と風と星と詩』(1941年)



1948年版



1955年版



1983年版

尹東柱略年譜

1917年	0歳	12月30日、北間島（中華民国吉林省和龍県）の明東村に、父・尹永錫、母・金龍の長男として生まれる。
1924年	7歳	妹の恵媛 生まれる。
1927年	10歳	弟の一柱 生まれる。
1931歳	14歳	晩秋に尹一家は龍井へ転居。
1933年	16歳	弟の光柱 生まれる。
1934年	17歳	12月24日、最初の詩3篇制作。
1935年	18歳	9月、平壤の崇実中学校3学年に編入。 10月、崇実中学校の学友誌『崇実活泉』に詩「空想」が掲載される（活字となった初作品）。
1936年	19歳	3月、崇実中学校に対する神社参拝強要に抗議し自主退学。龍井の光明学園中学部4学年に編入。
1938年	21歳	2月、光明中学校を卒業し、4月、ソウルの延禧専門 学校文科に入学。宋夢奎、姜処重と寄宿舎生活を始める。
1940年	23歳	鄭炳昱が延禧専門学校に入学し、親交を結ぶ。
1941年	24歳	12月27日、修業年限短縮による3ヶ月繰り上げで延禧専門学校を卒業。 卒業記念に19篇の詩を自選した詩集『空と風と星と詩』を作製したが、出版は実現できず。一部を鄭炳昱に贈る。
1942年	25歳	3月に渡日し、4月、立教大学文学部英文学科（選科）に入学。 夏休みの帰郷を経て、10月に同志社大学文学部文化学科英語英文学専攻（選科）に編入。
1943年	26歳	7月14日、京都下鴨警察署に逮捕、拘禁される。 12月6日、送検される。
1944年	27歳	2月22日、起訴され、3月31日、京都地方裁判所により懲役2年を宣告され、福岡刑務所に移送される。
1945年		2月16日、福岡刑務所において死去。3月6日、北間島龍井東山の中央教会墓地に埋葬される。
1946年		6月、弟・尹一柱がソウルに行き姜処重と鄭炳昱から遺稿・遺品を受け取る
1947年		2月13日、初めて遺作「たやすく書かれた詩」が『京郷新聞』紙上に発表される。
1948年		1月、遺稿31篇を集めた詩集『空と風と星と詩』が刊行される。 12月、妹・尹恵媛が龍井の家にあった中学時代の作品をソウルに持ってくる。
1955年		2月、逝去10周年記念として増補版詩集『空と風と星と詩』が刊行される。

ヨンジョン
龍井の家にあった
中学校時代の詩をソウルへ持ってくる。



ユンヘウオン
尹恵媛

尹東柱の妹



ユンイルジュ
尹一柱

カンチョジョン
ソウルで鄭炳昱、
姜処重から遺稿・遺品を受け取る。
詩集の改訂を続ける。



ユンドンジュ
尹東柱

詩集出版を望んだが果たせず、
1945年に獄死。

尹東柱から贈られた
チョルラ ナムド クァンヤン
自選詩集を実家（全羅南道光陽市）の母に託し、
日本軍に入隊。
増補版詩集の刊行に貢献。



チョンビョンウク
鄭炳昱

延禧専門学校の後輩



カンチョジュン
姜処重

尹東柱から送られてきた東京時代の詩をはじめ、
遺稿・遺品を保管。
尹東柱の詩を世に送り出す。

延禧専門学校の同期

MAP



<資料提供>

延世大学校尹東柱記念館
尹仁石氏
楊原泰子氏(1968年文・史卒)

<参考文献>

宋友恵著／愛沢革『空と風と星の詩人 尹東柱評伝』藤原書店、2009年
多胡吉郎『生命の詩人・尹東柱—「空と風と星と詩」誕生の秘蹟』影書房、2017年
伊吹郷訳『尹東柱全詩集 空と風と星と詩』影書房、1984年